

試水内 かわら版 84号

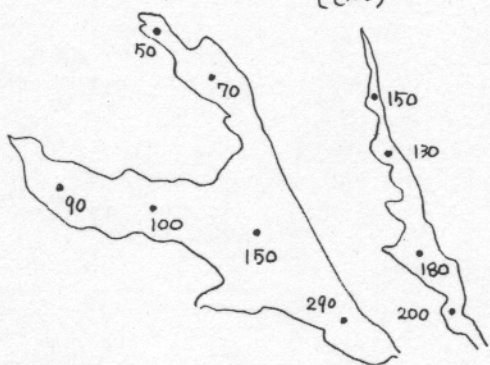
冬の氷は きれいになる？

きらいになる？

霞ヶ浦・北浦も、水温が
八〜九度となり、冬型
の水質環境となつてき
ました。

左の図は十二月の透明度
の分布を示したものです。

61年12月10~11日
の透明度分布 (cm)



透明度とは、直径30cmの
白色の円板を、水中に沈
めた時に、この円板が見
えなくなる深さで表わ
したものです。

透明度の数字が大きい
程、水は澄んでいるとい
うことになります。

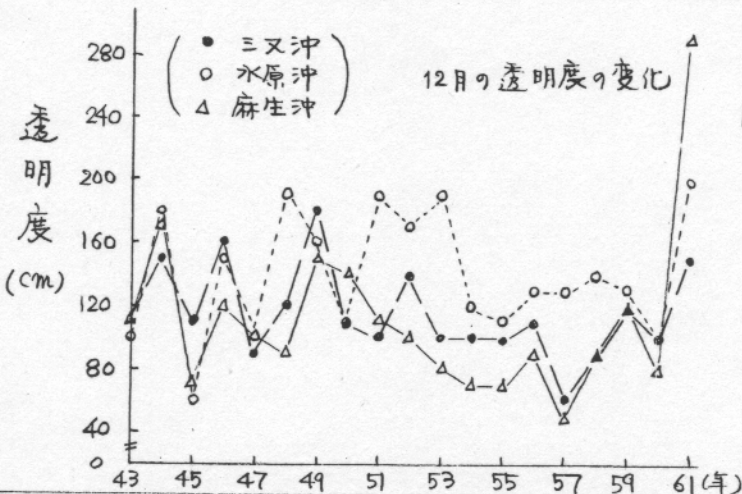
一般に、霞ヶ浦・北浦で
は、一〜二月に透明度
が高くなります。

また、最近では霞ヶ浦よ
り北浦で透明度が高
くなる傾向がみられ、北
浦の水原沖で、5.0mとい
う記録もあります。(昭
和五十五年三月)

上図に示した観測値に
よりすると、湖尻程透
明度が高く、霞ヶ浦の麻

生沖で290cm、北浦の水原
沖で200cmと、特に麻生沖
では、この時期としては珍
しく水のきれいな状態
でした。

12月の透明度の変化



当然のことですが、麻生
沖の水の中には、珪藻
などの植物プランクトン

は、殆んど見当りませ
んでした。

上の図は、十二月の水原
沖、三又沖及び麻生沖の
透明度の変化を示した
ものです。麻生沖の水が
例年に比較して、とりわ
けきれいなことが分り
ます。また、水原沖や三
又沖でも、ここ数年では
一番水が澄んでいるよう
です。

長期予報では、この冬、
は寒さが厳しくなる
ようですので、これらの
ことを考え合せると、今
年の冬の霞ヶ浦・北浦
の水は、澄んだきれ
いな状態になりそ
うです。